

2020-21 年度 第 2790 地区

ガバナー 漆原 節子（勝浦 RC） 第 5 グループガバナー補佐 窪田 謙（富津シティ RC）
富津シティ RC 会長 渡邊 敏 副会長 小倉 博人 幹事 宮崎 晴幸 SAA 伊藤 充教

通算 1357 例会 2020 年 11 月 18 日（水）

【点鐘】 渡邊会長

【ロータリーソング】 ソングリーダー：立石会員

ロータリーソング 「奉仕の理想」

【会長挨拶】 渡邊会長

何かと気忙しい時期を迎える頃となりましたが、ロータリーにおいても 12 月には次年度理事役員を決める時期となりました。選考委員会の方宜しくお願いいたします。本日はロータリー補助金プロジェクト委員会より堀内正人様をお招きし、ロータリー財団についての活動や補助金の使われ方等の説明を頂きますので宜しくお願いいたします。昨日、川崎マリンロータリークラブ会員でした福島安行様の通夜式に秋山・和田・渡邊の 3 名で富津シティロータリークラブの代表として行ってまいりました。故人には、ロータリー精神の人に対する思いやりとおもてなしの心を常に学びました。謹んでお悔やみ申し上げます。

【幹事報告】 宮崎幹事

- ・上総、袖ヶ浦、君津、富津中央 RC より週報が届いております。

【結婚・誕生】

結婚（11 月 14 日）和田会員

【委員会報告】

渡邊会長

- ・ 2 クラブ合同例会ガバナー公式訪問について



【例会プログラム／ロータリー財団卓話】

補助金プロジェクト小委員会：堀内委員

1. 財団の歴史

ロータリー財団の正式名称は「The Rotary Foundation of Rotary International(国際ロータリーのロータリー財団)」、頭文字を取って「TRF」と呼称します。

1917 年に 6 代目の RI 会長であるアーチ・C・クランプの提唱により「ロータリー基金」として設立されました。最初に寄せられた寄付はカンザスシティ RC からの 26 ドル 50 セントでした。1928 年にロータリー財団へと名称を変更し、1929 年には国際障がい児協会に初の補助金として 500 ドルを拠出しております。運営には長い間苦慮されたようですが、1947 年のポール・P・ハリスの逝去に伴い寄せられた多額の寄付金（130 万ドル以上）をきっかけにロータリー財団の規模は飛躍的に大きくなり、現在では 11 億ドルを超える資産を形成しております。



2. 財団の概要（国際ロータリーとロータリー財団）

国際ロータリー（RI）とロータリー財団（TRF）という2つの組織が存在しております。2つは別個の組織であります。

RIは各ロータリークラブが加盟者であり、ロータリークラブに入会している人々をロータリアンといいます。RIはロータリアンがクラブを通じて納める人頭分担金で運営されております。

TRFはロータリーが奉仕活動に必要な資金をロータリアンから寄付金として集めて再分配をするための組織です。寄付金の運用益などで運営されております。

ロータリーから集まった寄付金をTRFが運用後に配分し、その資金でロータリーは様々な奉仕活動を行う、といった関係性です。両者はそれぞれ独立した組織ですが、掲げる使命は「世界理解、親善、平和の達成」と同じであり、理念上も実際上も一つのロータリーとして一致団結することで使命を果たすための強い土台を築いております。

なお、財務規模はTRFの方が遥かに大きく、2019年6月期の収入は3億6,000万ドル、総資産は11億5,000万ドル（RIは収入1億1,300万ドル、総資産1億4,500万ドル）となっております。

3. ロータリー財団への寄付

TRFへの寄付は選択することができます（寄付分類）。年次基金寄付・恒久基金寄付・ポリオプラス・災害救援基金・冠名指定寄付などがあります。

「寄付ゼロクラブをなくそう」という話がよく出ておりますが、この場合の寄付とは「年次基金寄付額がゼロのクラブをなくそう」という意味であります。この年次基金寄付はTRFにより3年間資金運用され、元金を3年後に地区やクラブで使う（運用益はTRFの運営費）という寄付分類です。「シェアシステム」という仕組みにより配分され、地区補助金やグローバル補助金等の原資となります。

TRFへの寄付には各種表彰制度があり（PHF、BF、MD、PHS、AKS）、公財）、ロータリー日本財団を通じてのTRFへの寄付は全て日本の税制上の優遇措置の対象となります。

なお、RID2790では一人当たり150ドル以上の年次基金寄付、30ドル以上のポリオプラスへの寄付を目標としております。

4. 寄付金の使われ方（ポリオプラスと補助金の活用）

寄付金の使途としてTRFの掲げるプログラムはポリオプラス、補助金(GGとDG)、平和フェローシップとなっております。

①ポリオプラス

ポリオ根絶のための取り組みはロータリーの最優先項目とされております（ロータリー章典）。1985年に世界に先立ってRIが開始しました。ポリオウイルスは治療法が無いため予防接種により感染を防いでいくという取り組みです。今年の8月にアフリカ大陸でのポリオ根絶がWHOにより認定されました。常在国はパキスタンとアフガニスタンの2か国となっております。

②補助金

グローバル補助金(GG)と地区補助金(DG)の2種類があります。

GGは大規模(30000ドル以上)で長期(1年以上)の国際プロジェクトに使われます。

DGは比較的小規模で短期(1年以内)のプロジェクトです。国内でも海外事業でも可となっております。いずれも使用する場合は参加資格を得ることが必要で、MOUの提出、地区が主催する補助金管理セミナーへの出席が条件となっております。

次回の補助金管理セミナーは2021年1月30日(土)開催です。

③ロータリー平和フェローシップ

次世代のグローバルな平和構築者を育成するための事業です。ロータリー平和センター提携大学(7校、日本では国際基督教大学)にて世界中で最大100名のフェローが学んでおります。卒業後は国連やNGOに勤務し、難民支援や紛争地、被災地での復興支援活動に携わっております。



【ニコニコ BOX】クラブ管理運営委員会：阿部会員

遠藤 和夫：ロータリー財団卓話ありがとうございました。

阿部 信一：堀内様、本日の卓話ありがとうございました。大変わかりやすい説明、TRF の活動が少し理解出来ました。

和田 充敏：堀内様、本日は卓話頂きましてありがとうございます。結婚祝いありがとうございます。

栗坂 禎一：堀内様、本日は大変分かりやすい卓話をありがとうございました。「世界でよいことをする」をしっかり実践していきたいと思えます。

江藤 康子：堀内様、本日はありがとうございます。今後共、よろしくお願ひ致します。

立石 泰之：いつもお世話になっております。ロータリー財団卓話をして頂きました堀内正人様ありがとうございました。今後とも宜しくお願ひ致します。

窪田 謙：国際ロータリー第 2790 地区補助金プロジェクト小員会堀内委員、本日は宜しくお願ひします。又 20 日のガバナー合同公式訪問も宜しくです。

秋山 和彦：堀内委員、ロータリー財団の細かな説明を頂き、少し理解出来た様に思えます。寄附の方も少しずつ協力したいと思えます。

渡邊 敏：堀内様、財団の詳細説明をいただきありがとうございました。11/20 の二クラブ合同例会、宜しくお願ひいたします。

【出席報告】クラブ管理運営委員会：阿部会員

区分	会員数	出席	欠席	Make up	出席率
今回(11/18)	13	10	3	0	76.92%
前回(11/4)	13	11	2	0	84.62%

以上